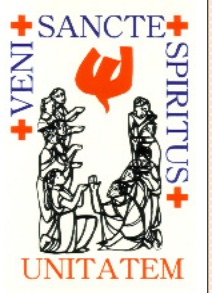


# カトリック 高松教区報

2021年1月10日 (第199号)  
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会  
〒760-0074 高松市桜町1-8-9  
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484  
Email  
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp  
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp  
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp  
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



マザー・テレサの言葉

私にできてあなたには  
できないこともあり、  
あなたにできて私には  
できないこともありま  
す。  
だから、ともに力を合  
わせれば、素晴らしい  
ことができるのです。

## コロナの中「新しい生き方」

すべての命を大切にする・分かち合う愛

使徒ヨハネ 諏訪榮治郎

新年あけましておめでと  
うございます。

世界規模のコロナウイル  
ス感染拡大の恐怖の中、教  
皇フランシスコは平和のシ  
ンボルである聖なるアジジ  
のフランシスコの墓前でメッ  
セージ『みな兄弟』を出さ  
れました(現在翻訳中)。医  
療崩壊が危ぶまれる中、「誰  
といえども一人で救われる  
ことはできない」という事  
実を前に、私たちは同じ船  
に乗っている「人類家族」  
の意識に目覚める時が来た  
ことを再認識するように、  
教皇は促しておられます。

コロナウイルスにさらに  
侵され最悪の事態に陥るの  
か、または「新しい生き方」  
を見出すのか、岐路に立た  
されているように思います。  
ここにおいて私たちキリ

スト者は「待つ人」である  
ことを確認したいと思いま  
す。この世界が、「力の論理」  
で平和の均衡を保とうとす  
るとき、「すべての命を大切  
にする」願いは崩れ、多数  
決による単なる民主主義を  
超えた「すべての命を大切  
にする・分かち合う愛」が  
なければ、人類は生きてい  
けない事態に陥るかもしれ  
ません。

主が私たちに与えられた  
「主の祈り」の各節ごとに  
イエスの祈念されている御  
父の願いがあります(この  
内容は次年度の司教書簡と  
して著したいと思っていま  
す)。私たちは、主とともに  
「待つ人」として「神の  
国」を日々選び、すべてを  
生かしておられる御父の心  
を生きた理想と目標があり

いま、神学生時代に学ん  
だ『現象としての人間』(テ  
イヤール・シャルダン)を  
思い出します。それは人類  
の進化に関する壮大な仮説  
です。人間は意思と知性を  
持つことによって、物質圏  
を超えはげしく精神圏へと  
進化し、その究極である  
「オメガ点」へと向かう、と  
いうものです。「オメガ点」  
とはキリストであり、地球  
の進化はキリストに向かっ  
ての進化である、と唱えて  
います。



### パウロ浜口末男司教 帰天

大分教区のパウロ浜口末男司教が  
12月28日に帰天されました。72歳、  
悪性黒色腫により入院治療中でした。  
浜口司教は、2005年3月、長崎  
教区から高松教区事務局長(小豆島教

会主任司教兼任)として四国に赴任さ  
れ、2007年3月から2011年4  
月の間は桜町教会の担当司教を務めら  
れました。  
温かい人柄で誰からも慕われ、いつ  
もそばにいる家族のような方でした。  
感謝のうちに永遠の安息をお祈りい  
たしましょう。

1948年8月1日 長崎県生まれ  
1975年3月19日 司教叙階  
2011年3月25日 大分教区司教に  
任命される  
2011年6月26日 司教叙階

## 東日本大震災 被災救援活動の終了

南相馬・大船渡・南三陸の  
各ベースは活動継続

忘れもしない2011年  
3月11日(金) 14時46分、  
東北地方一帯を襲った三陸  
沖地震、それはマグニチュー  
ド9.0の観測史上最大規  
模でした。地震に伴う津波、  
余震は東北から関東にかけ  
て2万人以上の犠牲者を出  
す最悪の被害をもたらしま  
した。また福島原子力発電  
所の事故は最も深刻なレベ  
ル7であり、現在も復旧の  
目途も立っていません。そ  
の地域で生きることができ  
ない危険性ははらんで今も  
その状況は続いております。

当時、国を挙げての救援  
活動が始まりました。カ  
トリック教会もすべての教  
区が直ちに救援活動を開始  
した次第です。  
カリタスジャパンを軸に  
教会管区・教区による11の  
「支援ベース」が設置されま  
した。各ベースの地域に沿っ  
た支援活動に国内外からの  
団体や個人のボランティア  
が参加されました。そこで

は数知れない出会いと友情、  
支えあう慈しみ、いのちの  
発見と分かち合い、さまざま  
な絆の輪が毎日毎日広がっ  
ていきました。女子修道会  
が会を超えて互いに奉仕し  
あう「シスターズリレー」  
は祈りの尊さと奉仕の精神  
を訪問者に伝え続けました。  
カリタスUSA(アメリカ)  
をはじめアジア諸国、世界  
の国々から物心両面のすば  
らしい支援がありました。  
・そして10年が経ちました。



大船渡にて

当初から支援活動は10年  
をもって終了する、(カリタ  
スジャパンの救援活動費が  
なくなる時)とありました。  
いくつかの支援ベースは10  
年をもって閉じることにな  
ります。しかし、閉じるこ  
とのできない「南相馬ベ  
ース」(東京教区支援)は、N  
PO法人として福島原発地  
域に生きる方々の支援活動  
を続けます。また「大阪教  
会管区」が立ちあげた「大  
船渡ベース」は地域の人々  
になくてはならない「生活  
の場」(地域住民の助け合い、

買い物送迎、高齢者見守り、  
外国籍家族の支援...)と  
なっています。今後「大船  
渡教会の宣教活動」として、  
地域の皆さまとともに生き  
る「憩の家」として継続し  
ていきます。同様に「南三  
陸ベース」は一般社団法人  
格を取り、米川地域の町づ  
くり復興事業(障がい者見  
守り、個別訪問、農業・お  
米作り、漁業支援、震災遺  
構案内、記念碑作り...)を  
継続してゆきます。「大阪  
教会管区」が支援してきた  
この二つのベースは互いに  
「姉妹ベース」としての協力  
関係を持続させ、活動を続  
けます。その活動資金はこ  
れまでの皆さまの支援献金  
残高を充当することになっ  
ています。



南三陸にて

田んぼ通足で水路を探索

これまでのみなさまのご  
支援、心より御礼申し上げ  
ます。まことにありがとうございます。  
ごさいました。コロナの感  
染予防に注意を払いながら  
も、今後ともボランティア、  
被災地訪問など、どうぞお  
でかけください。  
諏訪榮治郎司教

### はばたき

ツイッター、ユーチュ  
ブ、フェイスブック...  
いろいろな団体がインタ  
ネットを使っている。これ  
らは情報発信に欠かせない  
手段となっているし、いつ  
でもどこでも欲しい情報を  
受け取れるとても便利な仕  
組みである。

カトリックでも、教皇フ  
ランシスコのSNSやパチ  
カンのニュース配信をはじ  
め、あちこちの教会・修道  
会・個人が、ミサ動画や説  
教を発信するなど、イン  
ターネットが日常的に使わ  
れている。

「世界広報の日」の教皇  
メッセージでは、繰り返し  
インターネットの利用にふ  
れられている。2002年  
には教皇ヨハネ・パウロ2  
世が「インターネットは、  
適切に、そしてその力と弱  
点を正しく意識して使え  
ば、福音宣教にとってすば  
らしい機会を与えてくれる  
ものです。しかし同時に、  
電子的に築かれた関係が、  
真の福音宣教に必要な人間  
同士の直接の接触に決して  
取って代わることはできな  
いこともまた真実です。」  
として、その特性に留意し  
つつ宣教に活用すべきであ  
ることを述べられている。

コロナ禍の影響もあり、  
教区の各会議がオンライン  
ミーティングになるなど、  
インターネットの利用には  
拍車がかかっているように  
思えるが、人と人との直接  
のつながりも大切にしま  
ら、インターネットを積極  
的に活用していきたい。

## 地区・ブロックの話題

く西讃ブロックく

## 丸亀教会・普通寺教会の広報誌

丸亀教会 太田脩  
現在スペインに帰国されたパスカル神父様が、着任し信徒のみなさんと交わる方法を模索されていた時、教会内で新聞を発行しようという事になり、神父様におまかせで一応平成30年1月にスタートをしました。

第1号が刷り上がった時、驚いたのはタイトルが『さぬき富士』だったことです。

丸亀カトリック教会  
2020年12月32号  
普通寺カトリック教会

## さぬき富士

一思い起し、待ち望む一



善通寺教会と両方廻られていたので、2つの教会が仲良くとの意味もあり、中讃地方のシンボルである飯野山をデザインされ、神父様

最近では、信徒内から原稿の投稿もあり、みんなが楽しみに読んで、次回が待ち遠しい位フィーバーしています。毎日多忙な高山神父様には申し訳ありませんが、今後とも教会内がホットで明るい雰囲気になれる様な月刊誌でありたいと期待しています。



完成した八幡浜聖母幼稚園

く愛媛地区く  
学校法人ロザリオ学園八幡浜聖母幼稚園  
園児の「宗教」の時間

愛媛地区南予ブロック八幡浜教会では、既報教区報196号にて、2020年5月30日に完成した八幡浜小教区聖堂の建設をお知らせした。この聖堂建設は、隣接する八幡浜聖母幼稚園（〒796-0037愛媛県八幡浜市昭和通り1182-7）の耐震構造の問題により再建されることに関連して、聖堂がとり壊されることに伴うものであった。

八幡浜聖母幼稚園は、2019年9月から工事が始まり、2020年3月下旬に完成し、卒園式から新園舎が使用された。幼稚園の毎月の行事の中には、チャレンによる「宗教」の時間が盛り込まれている。八幡浜聖母幼稚園は、5月末の聖堂完成の後、これまでの旧聖堂での宗教の時間同様、新聖堂での宗教の時間が実施されている。

八幡浜聖母幼稚園のホームページには、2020年7月にチャレンである学校法人ロザリオ学園ゴンザロ・ベルモンテ・ファン・マヌエル理事長（ドミニコ修道会）が、年長園児とともに小さな新聖堂に初めて入った様子が報告されている。聖堂には、旧聖堂から引き継いだ1950年聖堂創建時の十字架がそのまま納められており、園児らはリアルなキリスト像をみて、「苦しうやな」「何わるいことしたん？」などの疑問を投げかけ、ファン神父はこれにやさしく応えられた。

このような宗教の時間は、7月から夏休みを除き毎月行われている。12月7日に



(八幡浜聖母幼稚園ホームページから再掲)  
上左: 神様のお話をするファン理事長  
上右: 聖堂の椅子に座る年長の園児達  
下: 12月7日の宗教の時間

は、待降節を学ぶ園児達が聖堂での特別な時間を過ごしたことが報告されている。八幡浜教会の主日ミサは通常信者8名、ベトナム研修生7名の約15名であり、大きな活動は難しいが、聖母幼稚園のホームページを通して、聖堂訪問の様子が市民に公開され、園ともに地域の宣教を担う姿がうかがわれる。

## 「オアシス」誕生

「オアシス」奉仕者 長井道子

松山教会の入口に不思議なカフェが誕生しました。正しくは営業ではないのでカフェではなく「オープンスペースオアシス」、より開かれた宣教の場です。

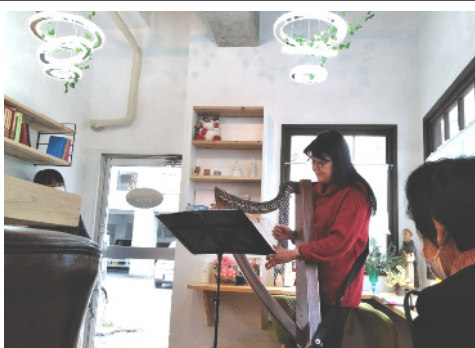
信者はもちろん道行く人、子どもの頃に日曜学校に通った事のある人、ロザリオ幼稚園、カタリナ、愛光学園の卒業生達がふと教会の前を通り、なんか懐かしいなあと思ってしまう。そんな場、教会に縁はなかったけどどんな所かな？勝手に入ったら怒られるかなと思っていた人が入り易い場を提供できたらしい。優しくそうなお姉さん(?)が楽しそうにおしゃべりして



いるからちょっと寄ってみようかと思ってもらえるスペースをめざして神父様を中心に奉仕者十数名がお手伝いしています。

コロナ禍なので空気清浄機をかけ、15分に一回の換気、マスク、アルコール消毒と考えられる対策を取って運営しています。

10月にオープンした当初はやはり信者さんの利用が中心でしたが、平日には「気になっていたので入りたいですか」とオフィス街の女性グループが来たり、亡くなった母が教会に来ていたので、里帰りしたら書院が代わっているのぞいてくれたりと、少しずつ教会に入った事のない人も訪ねてくれるようになりました。神父様も時間のある時は居てくださるので、お手伝いの私達とも交流ができ、聖書の事も気軽に伺える事ができるのもメリットかもしれません。



## 教区広報から

教区広報委員会では、教区報・インターネットで教区内小教区の情報を幅広くお伝えしていきたいので、皆様からの情報提供をお待ちしています。小教区の広報誌・新聞などに掲載された記事も歓迎です。各地区の広報委員を通して教区広報にニュースをお寄せください。

## ◇教区スケジュール◇

1月  
1日(金) 神の母聖マリア  
3日(日) 主の公現  
10日(日) 主の洗礼  
11日(月) 成人の日  
12日(火) 高松教区司祭・助祭・修道者の集い (Zoomにて)  
17日(日) 年間第2主日  
18日(月) キリスト教一致祈禱週間 (25日まで)  
19日(火) 司祭評議会Zoom会議 (10:00~12:00)  
24日(日) 年間第3主日 (神のことばの主日)  
25日(月) 聖パウロの回心  
31日(日) 年間第4主日 世界こども助け合いの日

2月  
2日(火) 主の奉献  
3日(水) 福者ユスト高山右近殉教者  
5日(金) 日本26聖人殉教者  
7日(日) 年間第5主日  
11日(木) ルルドの聖母 世界病者の日  
14日(日) 年間第6主日  
17日(水) 灰の水曜日 (大斎・小斎)  
21日(日) 四旬節第1主日  
22日(月) 聖ペトロの使徒座  
23日(火) 天皇誕生日

## 子どもと女性をまもる委員会

## 聖職者による性的虐待

## 相談窓口

電話番号: 087-831-6659

相談窓口受付時間  
月曜日から金曜日(祝日除く)  
午前9時~午後5時

高松教区対応チーム